

芭蕉元祿事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十七年六月度 入選句 (投稿総数千七百九十五句・小中学投句数千二百十六句)

特選

選者 高木 佐知子

ころもがえ 昨年は着れたあの服が 大垣市 山村 心愛(小五)

初夏の装いがあちらこちらに感じられる中、今年も衣がえの準備をする様子が伝わってきました。昨年も着ていたお気に入りの服を手にとると、少し小さいかなと気付きます。でもそれは、その分自分が大きくなったことの表れです。「あの服」とはどんな色のどんな服なのかを想像させるところが楽しいですね。また、毎日の生活の中で、こんなところにも成長の喜びを感じられる温かい一句になりました。

祖母の持つかごいっばいの初なすび 大垣市 水谷 光希(小五)

畑でたくさん野菜を育てている元気なおばあちゃん。立派に実った今年の初なすびを家族のために三三三しながら収穫している姿が目につかびます。晩ごはんのおかずは、どんなナス料理なのでしょう。家族のみんなが、おばあちゃんの作る野菜を楽しみにしているから、おばあちゃんも元気がわいてくるのでしょう。「かごいっばい」という七音が、笑顔いっばいの家族を表している、温かい気持ちになれる一句です。

つばめさんらいねんもまたまってるよ 揖斐郡池田町 たけおか あいり(七才)

軒下で作った巣にえさを運ぶ親つばめを見て、ひなが一日一日成長することを心から祈ったことでしょう。つばめが巣立つていくまでの間、家族が増えましたね。温かく見守る様子が伝わってくるやさしい一句です。つばめといっしょにすごした楽しさやうれしさが自分の中の宝物になつて、来年もまたいっしょにすごそうねとメッセージを送ったでしょう。きっと来年も来ますよ。

秀逸

夏木立風にゆられて夢心地 大垣市 河合 莉瑚(小六)

てつぼうをくるりまわってひやけがお 愛知県津島市 さこう しほ(小一)

あじさいと笑顔が写る水たまり 美濃加茂市 加藤 優奈(中二)

ひまわりの上向く姿まねしたい 美濃加茂市 美濃輪 莉香(中二)

流星願いを言うまで待っていて 美濃加茂市 藤 吉 楓(中二)

夏野菜ほおばった顔プチトマト 美濃加茂市 木下 竜 玖(中二)

校舎から虹たつ空に手をのばす 美濃加茂市 美濃輪 万心(中二)

のき下にツバメの大工家づくり 大垣市 早野 恵 渥(小五)

父さんとラディッシュまいた春の朝 大垣市 眞下 直也(小三)

春風と私はいつも会話中 大垣市 杉原 由唯(小六)

入選

なつちかしあらたないのちたんじょうだ 大垣市 山田 悠月(小四)  
 夏灯台めじるしとしてまちあわせ 大垣市 多田 七海(小六)  
 若葉の枝水門川にごあいさつ 大垣市 佐野 夢唯(小六)  
 蝉がなく木かげに来たりひと休み 大垣市 野村 愛(小六)  
 はしの下水草およぎコイたどる 大垣市 宮田 知奈(小六)  
 かたつむりなんであめのひでかけるの 大垣市 なかしま はる(六才)  
 汗落ちて木かげで涼む芭蕉像 大垣市 杉本 容子(小六)  
 アスファルト水玉もよう映し出す 美濃加茂市 宮本 彩華(中二)  
 青い空みんなで円陣絶対勝つ 美濃加茂市 渡辺 陽斗(中二)  
 ひまわりは太陽のことが好きみたい 美濃加茂市 後藤 佳乃(中二)

入選

一本道紫陽花の色そめあげ 美濃加茂市 長谷川 実祐(中二)  
 つばめのおおきなくちでははをよぶ 大垣市 堀田 侑吾(小五)  
 夏の山アスレチックに大はしゃぎ 大垣市 井上 桃(小五)  
 川の上鳥がはばたき一直線 大垣市 星山 和輝(小六)  
 姉ちゃんの見つめる先きにホテルとぶ 大垣市 山田 優杏(小二)  
 くまんバチぼくもすきだよふじの花 大垣市 藤田 光聖(小三)  
 いつてきます朝のあいさつあじさいに 大垣市 渡辺 開斗(小四)  
 鉄ぼうに雨つぶならんでぶらさがる 大垣市 関谷 晃介(小四)  
 ひまわりやどこまでのびるかいぎ勝負 大垣市 柴田 悠葵(小六)  
 こいがはね見せびらかすよ自慢のお 大垣市 伊藤 誠章(小六)

選者吟

万緑や帽子を置いて深呼吸

佐知子